6団体・110人が心を一つにした最後の演奏

町内外の吹奏楽団が共演「吹奏楽フェスタ in スバル2014」

地域の音楽文化の向上を目的に「吹奏楽フェスタinスバル2014」（ウインドアンサンブルカイツ主催）が7月6日、内子町文化交流センタースバルで開かれました。

内子町内外の中学校・高校の吹奏楽部など6団体・110人が出演。積み重ねた練習の成果を披露しました。最後の曲は出演者全員で合奏する行進曲「青葉の街で」。迫力のある演奏に観客から大きな拍手が起こりました。

商工会青年部制作の城には白雪姫とシンデレラも

江戸時代から続く伝統行事 今年は「アナと雪の女王」が最優秀賞

「うちこ夏まつり」（内子まちづくり商店街協同組合主催）は7月12日、内子本町通り商店街で行われました。　名物の「造り物」には19店舗などが参加。花でつくった「アナと雪の女王」（制作・フローリストやまおか）など話題性のある作品が並び、訪れる人たちを楽しませていました。

その他にも防犯パレードや、夏祭り美術展、花火の打ち上げなどが行われ、伝統行事に花を添えました。

豊かな小田川の流れを、たらいで実感

豊かな自然に育まれる子どもたち「元気わくわく川まつり2014」

豊かな川の流れ、小田川を遊んで学ぼうと「元気わくわく川まつり2014」（同実行委員会主催）が7月20日、五十崎自治センターと豊秋河原で開かれ、多くの親子連れなどでにぎわいました。参加者は水辺の生物や川について学んだ後、ニジマス釣りやウナギのつかみ捕りに挑戦。ツリーマイスター（木のぼり）やたらい流しなどもあり、小田川と触れ合うさまざまな体験を楽しみました。

始球式の様子。試合は4対4の引き分けに終わった

愛媛マンダリンパイレーツ公式戦 in 城の台 セレモニーでは地元の球児たちが大活躍

愛媛マンダリンパイレーツと徳島インディゴソックスの公式戦が7月20日、城の台公園で行われました。

試合前のセレモニーでは内子ソフトボールスポーツ少年団と五十崎ジュニアソフトボールクラブのメンバーが選手と共に入場。両チームの代表が始球式を行いました。小田高等学校吹奏楽部が国歌演奏、町内各中学校の野球部が運営などで協力し、会場を盛り上げました。

子どもたちに大きな夢を 竹下景子さんらが内子町で朗読会

子どもたちに本物の芸術に触れてほしいと「竹下景子（けいこ）さんの朗読と音楽の調べ」（内子町教育委員会主催）が6月24日、内子町文化交流センタースバルと内子座で開かれ、町内の小中学生約780人が鑑賞しました。

プロの演奏者3人が「エリーゼのために」など6曲を披露。竹下景子さんは3人の演奏を交えながら、宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」を朗読しました。

花束が贈られ、笑顔を見せる出演者の皆さん

かかしが守る棚田の米と風景「第2回かかし作りコンテスト」

農山村の風景を楽しもうと「かかし作りコンテスト」（泉谷地区棚田を守る会主催、上岡満榮（みつえ）会長）が6月29日、泉谷地区の棚田で開かれ、14組43人が参加しました。

参加者は約3時間をかけ、背中を反らした「稲バウアー」など17体の個性豊かなかかしを制作。上岡会長は「楽しみながら泉谷の棚田を知ってもらう好企画。もっと多くに人に参加してほしい」と話しました。

棚田を眺めながらの楽しい作業

楽しい「まち歩き」の鍵は――。先進地の市民プロデューサーを招いて学習会

まち歩きの魅力を広げる取り組み「ねき歩き学習会」（観光協会主催）が7月4、5の両日、内子・五十崎・石畳地区の「まち歩きコース」で開かれました。先進地の長崎県から川良真理（まり）さん（長崎コンプラドール副代表）が来町し、各コースを視察。川良さんは「まち歩きはガイド、参加者、住民の対話が魅力。地域の良さを共有することが、町の資源を残すことにもつながる」と説きました。

昔の様子を説明する成田幸子（さちこ）さん（中央）。左が川良さん

新しい音の芸術、内子座に響く 100周年記念事業「内子座音楽祭」

「内子座音楽祭――夏音（かのん）――」は7月6日、内子座で開かれ、バイオリニストのAYASA（あやさ）さんを中心としたロックバンド「Sword of the Far East（ソード オブ ザ ファー イースト）」と元鼓童メンバーの金子竜太郎（りゅたろう）さん、吉井盛悟（しょうご）さんが舞台で共演しました。

バイオリン・ギター・太鼓・篠笛などで奏でる音楽は、内子座と調和して新鮮な公演となりました。観客にも受け入れられ、最後は総立ちで盛り上がっていました。

和と洋が融合したステージ